

機械加工品事業

圧倒的な高シェアと蓄積されたコア技術で高収益

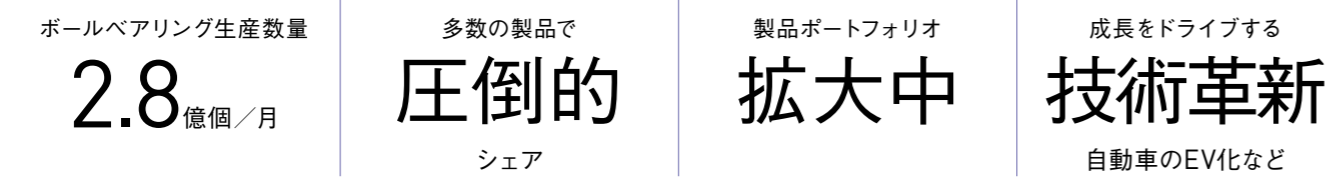
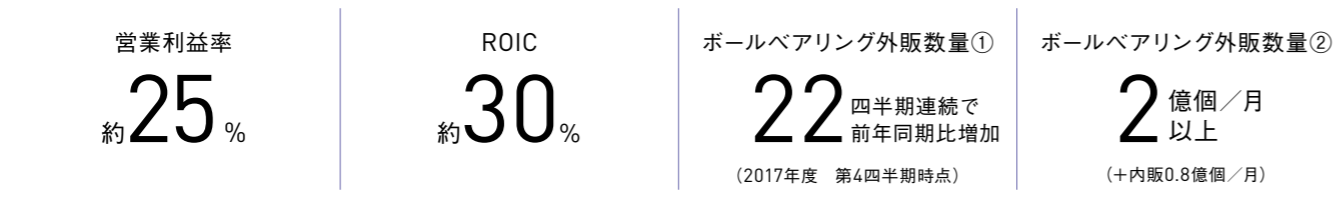
主要製品

- ボールベアリング
- ロッドエンドベアリング
- スフェリカルベアリング
- ローラーベアリング
- ファスナー
- プッシング
- ピボットアッセンブリー
- メカニカルアッセンブリー
- 航空機用ネジ類

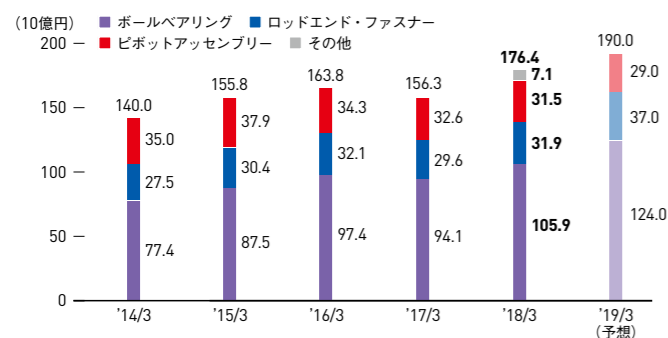


2018年3月期の概況

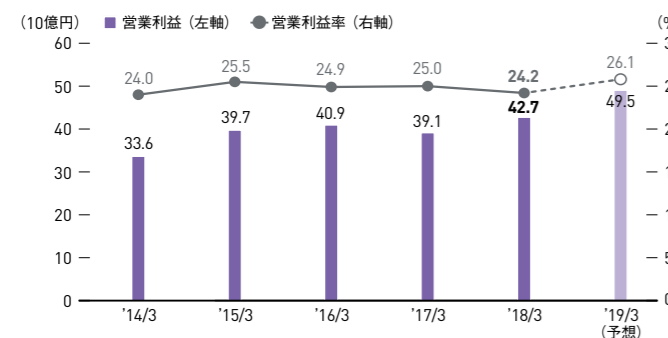
■ 機械加工品事業 ハイライト



■ 売上高



■ 営業利益／営業利益率



*2018年3月期までは日本会計基準、2019年3月期予想はIFRS

来期の見通し

大幅な増収・増益で成長が加速

主力製品であるボールベアリングは、世界的な需要の増加に

合わせて、生産性の改善及び設備投資による大幅な増産体制を整備するとともに、引き続き自動車業界等への積極的な拡販を進めます。また、ロッドエンド・ファスナーについても、生産性の改善、中小型機を中心とする拡販、そして買収シナジーの発現により、競争力のさらなる強化を進めます。

7本槍戦略 (機械加工品事業)

7本槍戦略の① ベアリング

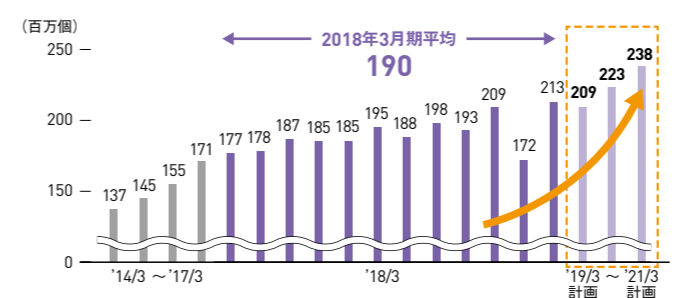
ボールベアリング：次なる成長ステージへ

従来、ボールベアリングの外販は年率5~7%で成長してきましたが、2017年3月期以降、年率10%へと成長が加速しています。需要をけん引しているのは自動車、データセンター向け冷却ファン、高級家電、小型ロボット(ドローン等)で、いずれも省エネ性や安全性といった高機能化が進み、当社の超高品質、超精密なベアリングが使用されています。力強い需要を受けて生産能力の拡大も積極的に進めています。今後も、品質、供給力等での市場で圧倒的な競争優位性を発揮し、収益基盤をさらに強固にまいります。

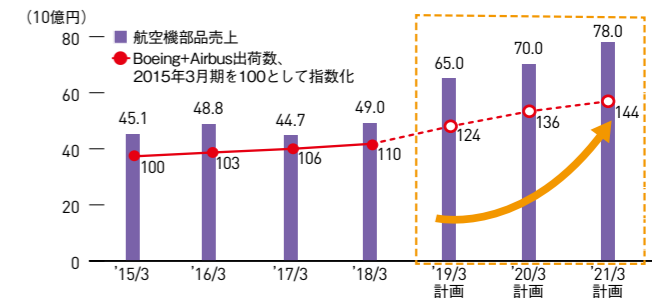
航空機部品：収益改善、買収シナジーで大きく成長

世界の航空機市場は、旅客数の増加や燃費効率の改善といったメガトレンドを受けて、長期にわたって安定的な成長を見込んでいます。航空機部品は、高温・高速・高荷重などの厳しい環境に耐えられる高度な耐久性と安全性が求められますが、当社は欧州・北米・アジア(日本・タイ・インド)の3極において、高品質で安定的に供給できる生産体制を整備しています。今後も、グローバルでの生産体制の強化を推し進めるとともに、買収したC&AとMach Aeroとのシナジーで力強い成長を追求してまいります。

■ ボールベアリング外販数量



■ 航空機部品売上計画



未来へ向かって

安定成長とポートフォリオ拡充で今後も強いドライバー

機械加工品事業は、当社創業以来のコア事業として安定的かつ永続的な成長を維持するとともに、ポートフォリオを拡充することで成長領域を最大化することが、基本戦略となります。そのために、すでに市場で圧倒的な競争優位性を誇るミニチュア・小径ボールベアリングをさらに強化するとともに、新技術の獲得やポートフォリオの拡充等を目的とする積極的なM&Aを通して、収益基盤をさらに強固にすることに取り組んでいます。

その一環で、2017年度は海外で2社のM&Aを行いました。1社は米国のC&Aで、医療・航空機分野向けに3Dプリンティング技術や特殊金属加工技術を保有しています。もう1社はフ

ランスのMach Aeroで、航空機市場向けにエンジン関連や回転翼関連の事業を保有しています。さらに、両社とも当社の拠点戦略においても大きなトップラインシナジーが見込まれます。

今後も、多面的なシナジー効果をグローバルに創出し、機械加工品事業のさらなる発展を目指します。



C&A Tool Engineering, Inc. | Mach Aero Breigny Rectification SAS